

Group Results Summary

大和ハウスグループ業績ハイライト

2004年3月31日現在

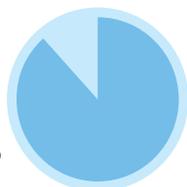


V字回復により株主資本比率が**1.1ポイント**上昇し、**45.3%**へ
厚生年金基金に約**250億円**を一括拠出
退職給付数理差異益**95億円**の発生により、営業外収益が増加
有利子負債を**45億円**削減し、期末残が**15億円**に

グループ中の大和ハウス工業単体の比率

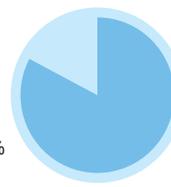
売上高

- 大和ハウスグループ全体：1兆2,246億円
- 大和ハウス工業単体：1兆813億円 88%



営業利益

- 大和ハウスグループ全体：596億円
- 大和ハウス工業単体：493億円 83%



2004年3月期のプラス要因

住宅業界全体

民間企業設備投資(実質値)が前期比12.0%増と5年ぶりに10%超拡大しました。

住宅ローン減税の適用期間が1年間延長されました。

大和ハウスグループ

土地の粗利益率が6.6ポイント向上しました。(大和ハウス工業単体)

観光事業の黒字化を図ることができました。

2004年3月期のマイナス要因

住宅業界全体

公示地価の下げ幅が縮小し、一部には下げ止まりの傾向も見えますが、全体としては依然下落基調が続いています。

新設住宅着工に占めるプレハブ住宅の比率が、4年連続で減少し、13.5%となりました。

大和ハウスグループ

ホームセンター閉店費用ほかで、113億円の特別損失を計上しました。

戸建分譲住宅の販売が、戸数・売上高とも前期に比べ減少しました。(大和ハウス工業単体)